

書名	副書名	著者	出版社	発行年	請求記号	
私たちの愛		田原総一郎著, 田原節子著	講談社	2003.1	289.1/タノ	乳がん
アメリカで乳がんと生きる		松井真知子著	朝日新聞社	2000.3	495/141/	乳がん
歌に私は泣くだらう	妻・河野裕子闘病の十年	永田和宏著	新潮社	2012.7	W62/414/	乳がん
がんでも私は不思議に元気		絵門ゆう子著	新潮社	2005.12	915.9/エユ/	乳がん
絵門ゆう子のがんとゆっくり日記		絵門ゆう子著	新潮社	2006.6	915.9/エユ/	乳がん
余命1ヶ月の花嫁		TBS「イブニング・ファイブ」編	マガジンハウス	2007.12	915.9/テ/	乳がん
スマイル	絶望を喜びに変えた女性の記録	土居伸光著	光文社	2000.10	915.9/トノ/	乳がん
毛のない生活		山口ミルコ著	ミシマ社	2012.2	915.9/ヤミ/	乳がん
乳がんのうた		市井ノリ子著	保健同人社	1990.12	915.9/イノ/	乳がん
ガンわたしは幸福(しあわせ)に死ぬ		御手洗佑美著 小山芙美子編著	主婦の友社	1995.05	915.9/ミュ/	乳がん
癌と私の共同生活		俵萌子著	海竜社	1997.1	915.9/タモ/	乳がん
妻をガンから取り戻した記録	「あと三か月」の告知から	大西央士著	ダイヤモンド社	1997.9	915.9/オヒ/	乳がん
グレース&グリット 上	愛と魂の軌跡	ケン・ウィルバー著 伊東宏太郎訳	春秋社	1999.10	935.9/347/1	乳がん
グレース&グリット 下	愛と魂の軌跡	ケン・ウィルバー著 伊東宏太郎訳	春秋社	1999.10	935.9/347/2	乳がん
がん病棟の隣人		中島みち著	毎日新聞社	1981.11	BFナ/45/	乳がん
乳ガンなんかには負けられない (文春文)		千葉敦子著	文芸春秋	1987.8	491.6/124/	乳がん
たたかいはいのち果てる日まで	医師中新井邦夫の愛の実践	向井承子著	新潮社	1984.7	B91/972/	乳がん
よく死ぬことは、よく生きることだ		千葉敦子著	文芸春秋	1987.4	491.6/120/	乳がん
ニューヨークでがんと生きる (朝日ノンフィクション)		千葉敦子著	朝日新聞社	1986.4	491.6/106/	乳がん
「死への準備」日記		千葉敦子著	朝日新聞社	1987.8	915.6/362/	乳がん
いのちの声	失うことは生かされること	遠藤郁子著	海竜社	1994.6	915.9/エイ/	乳がん
あね・いもうと	誰にも話さなかった姉妹の内緒話	仁科幸子著	ベストセラーズ	1992.3	914.6/ニコ/	子宮がん
久和ひとみ絶筆	子宮がん闘病116日の日記	久和ひとみ著	小学館	2001.10	915.9/クハ/	子宮がん
今日を生きる	前向き・ひたむきガン克服体験記	小玉元子著	たま出版	1997.3	915.9/コモ/	子宮がん
死ぬという大仕事	がんと共生した半年間の記録	上坂冬子著	小学館	2009.6	915.9/カフ/	卵巣がん
がんと向き合って		上野創著	晶文社	2002.7	915.9/ウハ/	睾丸(腫瘍)が
あきらめるのはまだ早い	癌と共に生きて 十年間の記録	岩城世幸著	ミッドナイト・プレス	1991.3	915.9/イト/	睾丸(腫瘍)が
輝やけ 我が命の日々よ	ガンを宣告された精神科医の1000日	西川喜作著	新潮社	1982.1	493.7/214/	前立腺がん
アマリリスは咲いても	精神科医その生と死	渡辺博著	NOVA出版	1991.04	915.9/ワヒ/	前立腺がん
私と木島則夫の闘い	癌と老いと2500日	木島喜世子著	リム出版	1991.12	915.9/キキ/	前立腺がん
がん患者に捧げる本	温熱指圧療法の奇跡	藤原明夫著	泉文社	1984.11	491.6/84/	肺がん
ぼくの父はこうして死んだ	男性自身外伝	山口正介著	新潮社	1996.5	910.28/ヤヒ/	肺がん
妻と私		江藤淳著	文芸春秋	1999.7	915.9/エン/	肺がん
飛鳥への伝言	がん宣告の母から息子への50通の手紙	橘雅子著	講談社	2000.5	915.9/タマ/	肺がん
プロジェクト・キャンサー	「けもの道」を選んだガン患者	大橋淳一著	角川書店	2001.4	493.3/53/	肺がん
負けてたまるか	肺ガン刑事の長生き奮闘記	腰原常雄著	二見書房	2002.11	915.9/コツ/	肺がん
まどろみの海へ	ある尊厳死の記録	堀江誠二著	PHP研究所	2006.11	915.9/ホセ/	肺がん
31歳ガン漂流		奥山貴宏著	ポプラ社	2003.11	915.9/オタ/	肺がん
32歳ガン漂流エヴォリューション		奥山貴宏著	牧野出版	2005.3	915.9/オタ/	肺がん
妻を看取る日	国立がんセンター名誉総長の喪失と再生の記録	垣添忠生著	新潮社	2009.12	915.9/カタ/	肺がん

書名	副書名	著者	出版社	発行年	請求記号	
妻を看取る日 ロストシングル	1人残された男の自立	垣添忠生著 富山県女性財団編	富山県女性財団	2012.3	490.1/563/	肺がん
僕の死に方	エンディングダイアリー500日	金子哲雄著	小学館	2012.11	289.1/カテ/	肺がん
わが涙よわが歌となれ		原崎百子著	新教出版社	1979.3	915.6/245/	肺がん
担癌者		石井仁著	新潮社	1984.2	BF1/321/	肺がん
生きていた	「ガン」からの生還	沢野久雄著	主婦の友社	1985.5	BFサ/352/	肺がん
悔いてやまず		中島みち著	毎日新聞社	1982.9	915.9/777/	肺がん
天国の書齋	ある終末期介護の記録	前田みち著	石田パンリサーチ出版	1989.7	915.9/1001/	肺がん
肺ガン病棟からの生還		野原一夫著	新潮社	1990.2	915.9/カ/	肺がん
ゆーわけ、こわけ	死を歩む母、グループケアの記録	水沢周著	文芸春秋	1991.06	915.9/ミシ/	肺がん
いのちありがとう		福岡籍慧絵手紙 福岡啓介編	風の碑社	1994.06	289.1/フハ/	肺がん
わが命の灯を	心筋梗塞と肺ガンを越えて	阿木翁助著	講談社	1990.08	914.6/アオ/	
看護本来の姿とは	妻の死に考える	富沢賢〔著〕	看護の科学社	1979	492.9/46/	胃がん
家で看とること・看とられること	末期がんの母を最期まで自宅で看護したあるサラリーマン家庭の記録	西尾憲太郎著	オリジン社	1995.06	491.6/192/	胃がん
浩さん、がんばったね		野添ひとみ著	講談社	1988.6	778.2/256/	胃がん
病者・花	詩集 細川宏遺稿詩集	細川宏著 小川鼎三、中井準之助編	現代社	1978.2	911.56/317/	胃がん
おかあさんはここにいますよ	ガン告知、そして残された日々	柴芳子著	南方新社	1997.12	915.9/シヨ/	胃がん
涙のアンパンマン・マーチ		原島久美子〔著〕	書苑新社	1995.5	915.9/ハク/	胃がん
告知	外科医自ら実践した妻へのガン告知と末期医療	熊沢健一著	マガジンハウス	1999.2	915.9/クケ/	胃がん
ヒマラヤの風にのって	進行がん、余命3週間の作家が伝えたかったこと	吉村達也著	角川書店	2012.7	915.9/ヨタ/	胃がん
いのちに限りが見えたとき	夫と「癌」を生きて	星野周子著	サイマル出版会	1996.11	915.9/ホカ/	胃がん
知りたがりやのガン患者（人間選書）		種村エイ子著	農山漁村文化協会	1996.11	915.9/タエ/	胃がん
ガン宣告	あるサラリーマン・43歳の生と死	松岡寿夫著	講談社	1981.12	B91/1001/	胃がん
今日はすべて		吉岡昭子著	新声社	1984.12	915.9/786/	胃がん
えみちゃんの自転車	最愛の姉をガンが奪って	古舘伊知郎著	集英社	1991.09	915.9/フイ/	胃がん
ガン再発す		逸見政孝著 逸見晴恵補筆	広済堂出版	1994.02	915.9/イマ/	胃がん
愛妻記		新藤兼人著	岩波書店	1995.12	778.2/540/	肝臓がん
生きてんの精いっぱい	人間・渥美清 壮絶ガン闘病と家族愛	篠原靖治著	主婦と生活社	1997.7	778.2/651/	肝臓がん
愛に癒され愛に生きる	死によって生を贈られ病いによって情を贈られる	重兼芳子著	海竜社	1993.05	914.6/シヨ/	肝臓がん
たとえ病むとも		重兼芳子著	岩波書店	1993.12	914.6/シヨ/	肝臓がん
百万回の永訣	がん再発日記	柳原和子著	中央公論新社	2005.12	915.9/ヤカ/	肝臓がん
ガンに生かされて		飯島夏樹著	新潮社	2005.3	915.9/イナ/	肝臓がん
HCCの疑いあり	肝細胞ガンとの闘い	池田貴著	幻冬舎	1997.9	915.9/イタ/	肝臓がん
わが妻の「死の美学」		亀井俊介著	リバティ書房	1993.02	915.9/カシ/	肝臓がん
いのちと生きる		重兼芳子著	中央公論社	1993.08	915.9/シヨ/	肝臓がん
『覚えていてくれよ』	父・健太郎の尊厳死	古賀順子著	健友館	1993.09	915.9/コシ/	膵臓がん
モルヒネはシャーベットで	家で看取った死	波多江伸子著	海鳥社	1995.07	915.9/ハノ/	膵臓がん
断崖の年		日野啓三著	中央公論社	1992.2	F/ヒケ/	腎臓がん

書名	副書名	著者	出版社	発行年	請求記号	
いつのまにか朝日が	癌という経験	武田秀夫著	現代書館	1996.6	914.6/死/	腎臓がん
死の淵をみつめて		元木鶏二著	現代書館	1993.1	915.9/モケ	腎臓がん
癌め		江国滋著	富士見書房	1997.11	H68/354/	食道がん
ガン日記	二〇〇四年二月八日ヨリ三月十八日入院マデ	中野孝次著	文藝春秋	2006.10	915.6/764/	食道がん
おい癌め酌みかはさうぜ秋の酒	江国滋闘病日記	江国滋著	新潮社	1997.12	915.6/541/	食道がん
風に吹かれて	一開業医の食道ガン病床雑記	久我征哉著	海鳥社	2000.5	915.9/ウセ/	食道がん
手術は、しません	父と娘の「ガン闘病」450日	団鬼六、黒岩由起子著	新潮社	2011.8	915.9/オノ/	食道がん
生きる力	心でがんに克つ	なかにし礼著	講談社	2012.12	915.9/ナレ/	食道がん
わたしは尊厳死を選んだ	ガンに生きた900日	細郷秀雄著	講談社	1993.2	915.9/サヒ/	食道がん
安楽生と死		西野辰吉著	三一書房	1996.4	490.1/175/	
それでも私は生きる	ガンに耐えぬく日々	丹羽小弥太著	主婦の友社	1976	915.9/346/	
針千本	私のがん闘病記	江夏美好著	河出書房新社	1982.8	915.9/709/	
こぶしの花		大日方妙子[ほか]著	読売新聞社	1983.11	915.9/764	
ヒロ、先にごめんね。(ルネッサンスBOOKS)	現役看護師が遺した壮絶ガン闘病記	山下久仁子著	幻冬舎ルネッサンス	2005.8	915.9/ヤク/	舌がん
岳史よ、生命あるかぎり		加東康一著	講談社	1990.02	915.9/カコ/	舌がん
声をなくして		永沢光雄著	晶文社	2005.5	915.9/ナミ/	
神様のプレゼント	永沢光雄・生きた書いた飲んだ	永沢光雄著 永沢昌子著	産経新聞出版	2007.11	910.28/ナミ/	
いまだ見ぬ風景	作家の目で描き切ったガンとの闘い	小塚昭三著	文芸春秋	1995.07	915.9/コシ/	咽頭がん
生き尽くす人	全身小説家・井上光晴のガン1000日	山川暁著	新潮社	1997.4	910.28/イミ/	大腸がん
がん六回人生全快	現役バンカー16年の闘病記	関原健夫著	朝日新聞社	2001.7	915.9/セタ/	大腸がん
がん六回、人生全快		関原健夫著	ブックマン社	2016.10	915.9/セタ/A	大腸がん
がん患者		鳥越俊太郎	講談社	2011.6	915.9/トシ/	大腸がん
一緒に年取れずにごめんね	妻ががん患者になったとき	清水光雄著	小学館	1999.4	915.9/シミ/	大腸がん
生命をみつめる	進行癌の患者として	阿部幸子著	探究社	1991.10	490.1/85/	大腸がん
キャンサー・ギフト	ガンで死ねなかったわたしから元気になりたいあなたへ	高橋ユリカ著	新潮社	1995.5	491.6/189/	大腸がん
三度目のガンよ、来るならごゆるりと		梅原猛著	光文社	2001.4	491.6/305/	大腸がん／胃がん
わたし、ガンです ある精神科医の耐病		頼藤和寛著	文芸春秋	2001.4	493.4/124/	直腸がん
天空の川	ガンに出会った河川技術者の日々	関正和著	草思社	1994.10	915.9/セマ/	直腸がん
がんから5年	「ほどほど」がだいじ	岸本葉子著	文芸春秋	2007.9	914.6/キヨ/	虫垂がん(盲腸がん)
がんから始まる		岸本葉子著	晶文社	2003.10	915.9/キヨ/	虫垂がん(盲腸がん)
人は死ねばゴミになる	私のがんと闘い	伊藤栄樹著	新潮社	1988.06	915.9/957/	虫垂がん(盲腸がん)
オレは陽気ながん患者	心筋梗塞もやったぜ!	山中恒著	風媒社	2000.11	915.9/ヤヒ/	膀胱がん
からだに寄りそう	がんと暮らす日々	波多江伸子著	春秋社	2003.4	915.9/ハノ/	甲状腺がん
真紅のバラを37本		高橋穂世著	新声社	1983.9	B91/756/	
裏切られたガン患者たち		岩松久保著	五月書房	1999.11	498/248/	鑑状がん
がんばれば、幸せになれるよ	小児がんと闘った9歳の息子が遺した	山崎敏子著	小学館	2002.7	915.9/ヤト/	ユーイング肉腫
湖の伝説(梅原猛著作集:16)		梅原猛著	集英社	1982.4	081/231/16	平滑筋肉腫
骨が消えた!	多発性骨髄腫で逝った医師の闘病記	阿相幸治、阿相信子著	メトロポリタン	1994.7	493.6/64/	多発性骨髄腫

書名	副書名	著者	出版社	発行年	請求記号	
闘癌記	「死の宣告」と私の選択	マイケル・ギアリン・トツシュ著 堤理華訳	原書房	2003.6	935.9/387/	多発性骨髄腫
片目を失って見えてきたもの		ピーコ著	サンマーク出版	1999.9	914.6/ヒ/	
燃えるがごとく、癌細胞を焼きつくす	—最高のインフォームド・コンセントを求めて	長尾宜子著	三五館	1997.7	491.6/232/	横行結腸がん
飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ(ノン・ブツ)	若き医師が死の直前まで綴った愛の手記	井村和清著	祥伝社	1980.5	T959/19/	骨肉腫
飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ	若き医師が死の直前まで綴った愛の手記	井村和清著	祥伝社	2005.8	T959/97	骨肉腫
飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ(祥伝社黄金文庫)	若き医師が死の直前まで綴った愛の手記	井村和清著	祥伝社	2002.6	T959/90/	骨肉腫
青空、ついて来い!		熊谷真実著 長川千佳子著	新潮社	1998.11	915.9/クマ/	骨肉腫
若きいのちの日記	愛と死の記録	大島みち子著	大和出版	1972 1990.10	915.9/351/ 915.9/オミ/	骨肉腫
育子からの手紙	十五歳、ガンと闘った日々	副島喜美子著	筑摩書房	1989.11	915.9/1024/	骨肉腫
聖子は鳥になった		高橋和子著	潮出版社	1985.8	915.9/836/	神経芽細胞腫
妻よ、お前の癌は告知できない		上田哲著	講談社	1998.3	915.9/ウテ/	
わが子が、がんになったとき		ジェラリン・ゲイズ著 金子一雄訳	講談社	1994.1	935.9/220/	悪性リンパ腫
アメリカ的ガン闘病記		リー・あおい著	東京書籍	1999.7	915.9/リア/	悪性リンパ腫
幸せはどこにある	白血病を宝に変えた歩き遍路	石山未巳著	新風舎	2002.9	186.8/136/	白血病
小児がんとたたかうこと	ある母と娘の物語	ジョアン・ナンカロー・クラーク著 ローレン・ナンカロー・クラーク著	医学書院	2005.12	493.9/358/	白血病
團十郎復活	六十兆の細胞に生かされて	市川團十郎著	文藝春秋	2010.3	774/369/	白血病
「二人の天使」がいのちをくれた	白血病からの生還、臍帯血移植闘病記	吉田寿哉著	小学館	2005.10	915.9/ヨト/	白血病
命よ孫よ	骨髄移植をのりこえた家族の絆--その全記録	大泉逸郎著	光文社	2000.12	915.9/オイ/	白血病
無菌病棟より愛をこめて		加納朋子著	文芸春秋	2012.3	915.9/オト/	白血病
明日も必ず晴れますように		中島佐知子著	角川書店	1998.10	915.9/ナサ/	白血病
あっこちゃんの日記	天国からの愛のメッセージ	植木亜紀子、植木誠著	キリスト新聞社	1985.6	J91.5/116/	白血病
あっ子の日記	ママ、ごめんね!と天国へかけていったあっ子と母の八年間の闘い	植木誠編著、植木亜紀子著	教研学習社	1986.9	915.9/ウマ/	白血病
霧の中の生命	白血病を骨髄移植で治し、今日を生き	大谷貴子著	リヨン社	1991.12	915.9/オタ/	白血病
麻意ね、死ぬのがこわいの	死を問い生を見つめた少女	石黒美佐子著	立風書房	1993.3	CJ91.3/IS/	白血病
ママ、天国の住所を教えて	わが子を白血病でなくした母の手記	小野寺南波子著	連合通信社	1993.10	915.9/オナ/	白血病
「あっ子の日記」の大波紋	医療系女子学生たちの死生観	植木誠著	教研学習社	1995.7	493.9/149/	白血病
死への航海日記	十七歳の少女の生と死	小林雅子著、北沢杏子編	アーニー出版	1976.3	B91/929	白血病
みんながいるから今があるから		中溝裕子著	ホーム社	2001.2	915.9/ナユ/	骨髄異形成症候群
死の海を泳いで	スーザン・ソントグ最期の日々	デイヴィッド・リーフ〔著〕 上岡伸雄訳	岩波書店	2009.3	930.28/778/	骨髄異形成症候群
命いっぱい生きた日々		鴻農周策著	日本放送出版協会	1994.04	915.9/コシ/	
がんと闘ったスターたち		肥留間正明著	テレビ朝日	1993.7	772.1/92/	複数のがん
ガンと男		上林山瓊子著	砂書房	1999.9	915.9/カケ/	複数のがん
全身がん政治家		与謝野馨著 青木直美取材・構成	文藝春秋	2012.6	915.9/ヨカ/	複数のがん

書名	副書名	著者	出版社	発行年	請求記号	
「生と死」の現在 同時代ノンフィクション選集 第1巻		柳田邦男責任編集	文芸春秋	1992.11	915.9/ヤク/	複数のがん
余命半年の夢		堀ノ内雅一著	情報センター出版局	1996.12	915.9/ホマ/	複数のがん
明日に刻む闘い	ガン回廊からの報告	柳田邦男著	文芸春秋	1981.8	491.6/68/	複数のがん
ガンを告げる瞬間(トキ)		内橋克人著	新潮社	1987.5	491.6/118/	複数のがん
告知せず	ガンで夫との愛の深さを知った妻たちの四季	山内喜美子著	文芸春秋	1991.8	915.9/ヤキ/	複数のがん
生命をください!	ルポ骨髄移植	遠藤允著	講談社	1992.11	493.2/62/	複数のがん
ガン回廊の朝		柳田邦男著	講談社	1979.6	915.9/576/	複数のがん
がんを生きる子	ある家族と小児がんの終わりなき闘い	松永正訓著	講談社	2011.11	493.9/492/	その他のがん
回生を生きる	本当のリハビリテーションに出会って	鶴見和子〔ほか〕著	三輪書店	1998.5	494.7/75/	脳卒中
脳卒中ニコニコ介護の不思議		蔵本保子著	新風書房	2001.5	915.9/クヤ/	脳卒中
脳卒中リハビリ日記(朝日選書)		横田整三著	朝日新聞社	1985.1	493.2/37/	脳卒中
ワープロ通信	障害に生きる日々	井下田憲著	あすなろ社	1991.07	915.9/イケ/	脳卒中
寡黙なる巨人		多田富雄著	集英社	2007.7	914.6/外/	脳梗塞
病いととも流転楽天		鈴木俊平著	新潮社	1991.02	914.6/スシ/	脳梗塞
生かされた命	リハビリを受けながら	豊田正子著	岩波書店	1996.10	914.6/トマ/	脳梗塞
車椅子の目線で	京都・バリ島、暮らしの旅	大村しげ著	佼成出版社	1996.9	914.6/オシ/	脳梗塞
もう一度、投げたかった	炎のストッパー津田恒美・最後の闘い	山登義明、大古滋久著	日本放送出版協会	1994.9	783/423/	脳腫瘍
最後のストライク	津田恒美と生きた2年3カ月	津田晃代著	勁文社	1995.6	783/448/	脳腫瘍
ひとりのひとを哀しむならば		大沢恒保著	河出書房新社	1999.4	915.9/オツ/	脳腫瘍
ばいばい、フヒタ		藤田直子〔ほか〕著	読売新聞社	1994.2	F/フナ/	脳腫瘍
ありのまま		真屋順子著	主婦の友社	2003.5	772.1/169/	脳出血
癒されゆく日々		大島渚著	日本放送出版協会	2000.10	778.2/792/	脳出血
遺言	斃れてのち元まる	鶴見和子著	藤原書店	2007.1	914.6/ツカ/	脳出血
それでも脳は学習する		山田規畝子著	講談社	2007.2	915.9/ヤキ/	脳出血
たのむよ和代氏、もう一度しゃべって		藤子不二雄A著	中央公論社	1997.3	915.9/フフ/	脳出血
いのちある限り	ある脳神経外科医の記録	三輪和雄著	サイマル出版会	1976	494/35/	脳幹出血
脳卒中で倒れてから	よく生きよく死ぬために	鶴見和子著	婦人生活社	1998.8	914.6/ツカ/	脳溢血
大復活	脳溢血患者の爽快・熱血リハビリ記	永倉万治著	講談社	1997.12	915.9/ナマ/	脳溢血
割りばしの詩が聞こえる	「死にそこなった男」の物語	綾野まさる著	ハート出版	1998.6	県人文庫 アマ	脳溢血
潜水服は蝶の夢を見る		ジャン＝ドミニック・ボービー著	講談社	1998.3	955.9/39/	脳溢血
魂のリハビリテーション	植物人間からの生還	新井智著	筑摩書房	1984.2	494/54/	脳溢血
ぼくらはみんな生きている	18歳ですべての記憶を失った青年の手記	坪倉優介著	幻冬舎	2001.6	915.9/ツユ/	脳外傷(頭部外傷)
神様、ボクをもとの世界に戻してください	高次脳機能障害になった息子・郷	鈴木真弓著	河出書房新社	2006.8	915.9/スマ/	脳外傷(頭部外傷)
パパの脳が壊れちゃった	ある脳外傷患者とその家族の物語	キャシー・クリミス著	原書房	2001.11	935.9/370/	脳外傷(頭部外傷)
オーバーマイヘッド	脳外傷を超えて、新しい私に	クローディア・オズボーン著	クリエイツかもがわ	2006.12	935.9/434/	脳外傷(頭部外傷)
サッチャンの四角い空	植物人間との闘い	梶田欽志著	溪声社	1978	915.9/453/	脳外傷(頭部外傷)
脳死をこえて		藤村志保〔ほか〕著	読売新聞社	1985.11	915.9/853/	脳死
犠牲(サクリファイス)	わが息子・脳死の11日	柳田邦男著	文芸春秋	1995.7	915.9/ヤク/	脳死

書名	副書名	著者	出版社	発行年	請求記号	
お手本なしの人生(大活字文庫)	『1リットルの涙』亜也の詩	木藤亜也、木藤潮香著	大活字	2007.1	911.56/1738/	脊髄小脳変性
1リットルの涙	難病と闘い続ける少女亜也の日記	木藤亜也著	エフエー出版	1986.2	915.6/331/	脊髄小脳変性
いのちのハードル	「1リットルの涙」母の手記	木藤潮香著	エフエー出版	1989.5	915.9/1004/	脊髄小脳変性
沈黙を超えて生きる	夫と妻...それぞれの愛と闘いの物語	フィリップ・ヴィガン著 ステファヌ・ヴィガン著	主婦と生活社	1998.8	955.9/41/	ロケット・インシ ンドローム
偽りよ死ね	脳性マヒ者の愛と闘いの記録	寺ノ門栄著	参玄社	1973	369.2/260/	脳炎
突然死!	私は急性心筋梗塞から生還した	香取章子著	河出書房新社	2000.11	493.2/100/	心筋梗塞
22歳のメモリー		安藤友美子著	文芸社	1999.8	915.9/アユ/	心筋炎
届かなかった贈り物	勇貴の心臓移植、ドナーを待ち続けた 87日間の 記録	有村英明著	経済界	1999.9	915.9/アヒ/	
愛すれどいのち哀しく		草薙実・紀子共著	立風書房	1982	915.9/343	
この心臓と生きる		ロバート・ペンサック、ドワイト・ ウィリアムズ著	時事通信社	1997.11	935.9/309/	
わが家は自閉率40%	アスペルガー症候群親子は転んでもた だでは起きぬ	星空千手著	中央法規出版	2007.7	915.9/ホセ/	アスペルガー症 候群
ずっと「普通」になりたかった。		グニラ・ガーランド著	花風社	2000.4	493.7/702/	アスペルガー症 候群
パピヨン		田口ランディ著	角川学芸出版	2008.12	914/6/タ/	アルコール依存 症
介護の中で老いをみつめる		植月秀子著	日本放送出版協会	1995.7	369.2/725/	
医者がぼけた母親を介護するとき		米山公啓著	講談社	2000.2	493.7/670/	
私は誰になっていくの?	アルツハイマー病者からみた世界				493/7/926/	
花を	若年性アルツハイマー病と生きる夫婦 の記録				493.7/1036/	
院内感染		富家恵海子著	河出書房新社	1990.1	915.9/1028	院内感染
院内感染ふたび		富家恵海子著	河出書房新社	1992.5	915.9/トエ/	院内感染
うつ、その深き淵より	ある精神科医の闘病記録	ビート・C・カイパー著	創元社	1997.7	493.7/500/	うつ病
人間、「うつ」でも生きられる		谷沢永一著	講談社	1998.11	493.7/574/	うつ病
やまない雨はない	妻の死、うつ病、それから...	倉嶋厚著	文芸春秋	2002.8	915.9/クア/	うつ病
幸せがこわれるとき	ある女性セラピストの鬱病体験	マーサ・マニング著	ジャパンタイムズ	1996.3	935.9/362/	うつ病
うつ病と闘ったある少女の物語		トレーシー・トンプソン著	大和書房	1997.10	935.9/311/	うつ病
希望の子		家西知加子著	ワニブックス	2000.9	289.1/イチ/	エイズ
竜平の現在(いま)		川田竜平著	三省堂	1996.7	498.6/119/	エイズ
神様がくれたHIV		北山翔子著	紀伊国屋書店	200.5	498.6/165/	エイズ
企業戦士エイズと闘う		志村岳著	講談社	1993.5	915.9/シタ/	エイズ
魂の旅	エイズに逝った女性精神科医の手記	佐伯宣子、エンリコ・モンテレ オーネ著 高岡よし子編	中央公論社	1996.10	915.9/サノ/	エイズ
ぼくらが語りあった7日間		川田竜平、Toshi著	七賢出版	1996.9	915.9/カリ/	エイズ
エイズと闘った少年の記録 (心にのこる文学)		ライアン＝ホワイト著、 アン＝マリー＝カニンガム著 加藤耕一訳	ポプラ社	1992.7	J93.5/19	エイズ
天使のいない街		エリザベス・グレイザー著	共同通信社	1993.11	935.9/189/	エイズ

書名	副書名	著者	出版社	発行年	請求記号	
エイズで死んだ父へ		スーザン・バーグマン著 亀井よし子訳	晶文社	1997.6	935.9/295/	エイズ
なぜ私が	エイズ患者の告白	ジュリエット著 宇田川悟訳	朝日新聞社	1988.11	955.9/13/	エイズ
不真面目な十七歳		バルバラ・サムソン著 鳥取絹子訳	紀伊国屋書店	1996.7	955.9/32/	エイズ
いのちの輝き	エイズとともに生きる	石田吉明著	岩波書店	1993.10	914.6/13/	エイズ
止まらない時計	エイズに感染した日本人の妻、夫、恋人たち	志村岳著	小学館	1993.12	915.9/シタ/	エイズ
あと少し生きてみたい	ぼくのエイズ宣言	平田豊著	集英社	1993.12	914.6/ヒユ/	エイズ
生きて！ミッシェール	6歳のエイズ孤児と里親家族との愛の物語	千厩ともゑ文・写真	静山社	1994.7	915.9/セト/	エイズ
お父さんほら、山が見えるよ！	視力を失ってから始めた僕の山歩き	金山広美著	山と溪谷社	2001.1	786/463	黄斑変性
化学物質過敏症	家族の記録	小峰奈智子著	農山漁村文化協会	2000.7	493.1/429	化学物質過敏
透きとおった贈り物	角膜移植を受けて	佐々木美代子著	新潮社	1990.7	915.9/サミ/	
かなりあしよっへ、ようこそ！	摂食障害がくれた宝物たち	野村佳絵子著	筒井書房	2008.11	493.7/1194/	過食症
聖母病院の友人たち	肝炎患者の学んだこと	藤原作弥著	新潮社	1982.5	915.9/744/	肝炎
死の淵からの帰還	(シリーズ生きる)	野村祐之著	岩波書店	1997.8	915.9/ノユ/	
肝移植	私は生きている	青木慎治著	新潮社	1991.3	915.9/アシ/	
ダイエット破り！		夏目祭子著	河出書房新社	1999.8	B91/307/	拒食症
生かされて	گران・バレー症候群からの生還	田丸務著	健友館	2003.5	915.9/タツ/	گران・バレー症候群
まぶたでつづるALSの日々		土居巍著	白水社	1998.4	493.6/81/	筋萎縮性側索硬化症
尊厳死か生か	ALSと過酷な「生」に立ち向かう人びと	畑中良夫編著	日本教文社	1999.3	493.6/86/	筋萎縮性側索硬化症
やさしさの連鎖	難病ALSと生きる	佐々木公一著	ひとなる書房	2006.6	915.9/サコ/	筋萎縮性側索硬化症
しあわせの王様	全身麻痺のALSを生きる船後靖彦の挑戦	船後靖彦、寮美千子著	小学館	2008.8	915.9/フヤ/	筋萎縮性側索硬化症
照る日かげる日	ALS患者たちの記録	ジュディ・オリバー編 日本ASL協会訳	サイマル出版会	1991.5	493.6/48/	筋萎縮性側索硬化症
終わりに言葉なきことばありき		玉川よ志子著	講談社	1983.5	915.9/743/	筋萎縮性側索硬化症
いのち燃やさん	筋萎縮性側索硬化症と闘う	日本ALS協会編	静山社	1987.4	493.6/29/	筋萎縮性側索硬化症
妻のぬくもり蘭の紅		折笠智津子著	主婦の友社	1986.12	915.9/900/	筋萎縮性側索硬化症
出会いはたからもの		土屋竜一著	フーコー	1999.12	289.1/ツリ/	筋ジストロフィー
先生、ぼくの病気いつ治るの	障害者と生きて四十年	近藤文雄著	中央公論社	1996.11	369.2/817/	筋ジストロフィー
全身うごかず	筋ジスの施設長をめぐるふれあいの軌	山田富也著	中央法規出版	1999.3	369.27/28/	筋ジストロフィー
しんちゃん	筋ジストロフィーの慎太郎君の日々	菊池和子写真	草土文化	2001.3	493.6/152	筋ジストロフィー
いのち煌めくとき	施設介護から地域へ自立する三兄弟物語	小西弘一著	ハート出版	2000.1	915.9/ココ/	筋ジストロフィー
筋ジス患者の証言「生きるたたかいを放棄しなかった人びと」	逝きし者の想影	山田富也著	明石書店	2005.9	915.9/ヤト/	筋ジストロフィー
かわいくて、わがままな弟		金澤絵里子著	講談社	2005.12	915.9/カエ/	筋ジストロフィー

書名	副書名	著者	出版社	発行年	請求記号	
110センチの視野	電動車椅子のファンキー野郎アメリカ留学激闘記	平野誠樹著	アートオフィスプリズ	2007.10	915.9/ヒモ/	筋ジストロフィー
筋肉の崩壊と常に闘う男！	進行性筋ジストロフィーなんて怖くない	鈴木進二著	東京図書出版会	2004.7	915.9/スシ/	筋ジストロフィー
きっと明日は	雪子、20年の闘病記	江崎雪子著	ポプラ社	1989.11	J91.5/192/	筋無力症
筋無力症を乗り越えて		今井米子著	長崎出版	1986.2	493.6/27/	筋無力症
色鉛筆がくれた希望	クローン病を患って見つけた幸せのか	羽田紗織著	アートダイジェスト	2003.7	915.9/ハサ/	クローン病
命をくれたキス	「車椅子の花嫁」愛と自立の16年	鈴木ひとみ著	小学館	2000.11	915.9/スピ/	頸椎損傷
愛、深き淵より。	筆をくわえて綴った生命の記録	星野富弘著	立風書房	1985.1	C914.6/HO/	頸椎損傷
愛、深き淵より。		星野富弘著	学習研究社	2000.5	915.9/ホト/	頸椎損傷
気分は愛のスピードランナー	車椅子のウェディングから一年	鈴木ひとみ著	日本テレビ放送網	1987.9	915.9/915/	頸椎損傷
九段坂から		岩城宏之著	朝日新聞社	1988.5	914.6/1124/ ア	
サイレント・ガーデン	滞院報告・キャロティンの祭典	武満徹著	新潮社	1999.10	762.1/114/	膠原病
癒しのセクシー・トリップ	わたしは車イスの私が好き！	安積遊歩著	太郎次郎社	1993.11	915.9/アユ/	骨形成不全症
私がアナウンサー		菊間千乃著	文芸春秋	2001.4	289.1/キユ/	骨折
転んだあとの杖	老いと障害と	島田とみ子著	未来社	2000.2	493.1/418/	骨折
旅立とう、いま	こずえ20歳の青春	吉森こずえ著	日本放送出版協会	1981.10	915.9/672/	サリドマイド
翔べ！ 浩	あるサリドマイド児の青春	高橋幸春著	桐原書店	1983.12	B91/758/	サリドマイド
月夜に遊ぶ天使たち		越阪部重之[著]	新潮社	2003.5	915.9/オン/	色素性乾皮症
夜はまだあけぬか		梅棹忠夫著	講談社	1989.12	914.6/ウ67/	
こころという名の贈り物	続・自閉症だったわたしへ	ドナ・ウィリアムズ[著]	新潮社	1996.3	289.3/ウト/	自閉症
自閉症だったわたしへ		ドナ・ウィリアムズ[著]	新潮社	1993.10	289.3/ウト/	自閉症
僕の妻はエイリアン	「高機能自閉症」との不思議な結婚生活	泉流星社	新潮社	2005.9	915.9/イリ/	自閉症
発達障害だって大丈夫	自閉症の子を育てる幸せ	堀田あけみ著	河出書房新書	2007.1	915.9/ホア/	自閉症
数字と踊るエリ	娘の自閉症をこえて	矢幡洋著	講談社	2011.4	915.9/ヤヨ/	自閉症
ちづる	娘と私の「幸せ」な人生	赤崎久美著	新評論	2011.11	915.9/アク/	自閉症
我、自閉症に生まれて		テンプル・グランディン著	学習研究社	1994.3	289.3/クテ/	自閉症
私の障害、私の個性。		ウェンディ・ローソン著	風花社	2001.5	493.7/746/	自閉症
自閉症児エリーの記録		クララ・パーク著.新版	河出書房新書	2000.2	935.9/353/	自閉症
レックス	母と自閉症の息子、ふたりの人生を変えた音楽	キャスリーン・ルイス/著 佐藤利	主婦と生活社	2009	935.9/476/	自閉症
もう闇のなかにはいたくない	自閉症と闘う少年の日記	ビルガー・ゼリーン著	草思社	1999.10	289.3/セヒ/	自閉症
変光星	ある自閉症者の少女期の回想	森口奈緒美著	飛鳥新書	1996.2	915.9/モナ/	自閉症
私負けたくない青春だもん	ある障害者の心の告白	北地恵著	かのう書房	1993.9	915.9/キメ/	
笑ってよ、ゆっぴい		石井めぐみ著	フジテレビ出版	1996.7	915.9/イメ/	
かいかい日記	「疥癬」と「無言館」と「私」	窪島誠一郎著	平凡社	2008.4	915.9/クセ/	尋常性乾癬他
臓器移植体験者の立場から		沢井繁男著	中央公論新社	2000.1	494.9/67/	腎不全
神さまのくれたもうひとつの命		赤塚祝子著	集英社	2000.6	F/アノ/	腎不全
人工透析10年腎臓移植体験		鈴木竜志著	ベストセラーズ	2001.6	915.9/スタ/	腎不全
透析生活17年	新聞記者の移植体験記	山本晃著	岩波書店	2011.6	494.9/124/	腎不全
腎不全を生きて	腎臓病患者五人の軌跡	松村満美子著	ミネルヴァ書房	1991.11	915.9/ママ/	腎不全
通りゃんせ通りゃんせ	腎不全&心不全看護随想録	永井瑞江著	「新樹会」創造出版	2003.4	915.9/ナミ/	腎不全・心不全
雨のち晴子	水頭症の子と父のものがたり	山下泰司著	晶文社	2000.12	915.9/ヤヤ	水頭症
春は残酷である		星三枝子著	日本図書センター	2001.2	915.9/ホミ/	スモン病



書名	副書名	著者	出版社	発行年	請求記号	
薬害を負うて行く		横山悦子著	鶴書院	1997.11	915.9/㊦/	スモン病
信じる絆生きつづける思い	生体肝移植-真実の声-		翔雲社	2004.8	494/146/	生体肝移植
エンジョイ自立生活	障害を最高の恵として	樋口恵子著	現代書館	1998.2	369.27/3/	
四枚目の卒業証書	第5回ありのまま記録大賞受賞作品集	ありのまま舎編	エフエー出版	1990.6	915.9/ア/	脊髄損傷
冥冥なる人間	ある重度障害者のエクリチュール	可山優零著	川島書店	1992.11	915.9/カユ/	脊髄損傷
ぼくはこの足でもう一度歩きたい		マルク・メルジェ著	新潮社	2002.7	955.9/46/	脊髄損傷
病気は人生の挫折ではない(My boo	アナウンサーの“奇跡”	小川宏著	文化創出版	2001.9	289.1/オヒ/	躁うつ病
躁うつ病を生きる	私はこの残酷で魅惑的な病気を愛せるか？	ケイ・ジャミソン著 田中啓子訳	新曜社	1998.12	493.7/580/	躁うつ病
凄絶な生還、うつ病になってよかった		竹脇無我著 上島国利監修	マキノ出版	2003.7	915.9/タム/	躁うつ病
夫はうつ、妻はがん	夫婦で苦境を踏み越えて	小川宏著	清流出版	2006.9	915.9/オヒ/	躁うつ病
精神科医がうつ病になった	ある精神科医のうつ病体験記	泉基樹著	広済堂出版	2002.4	915.9/イヱ/	躁うつ病
みじかい命を抱きしめて	This is my life	ロリー・ヘギ著	フジテレビ出版	2004.3	935.9/395/	早老症
ダウン症のサラ	その成長と発達の記録	E.D.リーツ著	誠信書房	1996.8	493.9/175/	ダウン症
あなたが生まれて		小田ゆり著	ポプラ社	2001.6	915.9/オユ/	ダウン症
たったひとつのたからもの		加藤浩美著	文芸春秋	2003	289.1/カア/	ダウン症
周ちゃん、愛をありがとう		佐藤牧子著	日本放送出版協会	1997.7	915.9/サマ/	ダウン症
君の名はオルガ	父からダウン症の娘への手紙	ジュゼップ・M.アスピナス著	春秋社	1992.9	964/4/	ダウン症
愛、見つけた	小さな命の置きみやげ	小林完吾著	二見書房	1983.11	B91/893/	ダウン症
愛、ふたたび	辛い命を支える人たち	小林完吾著	二見書房	1985.12	915.9/869/	ダウン症
MS多発性硬化症とともに生きる	エッセイ集	日本シーリング株式会社提供	医学書院出版 サービス	2006.3	915.9/エ/	多発性硬化症
凍る体	低体温症の恐怖	船木上総著	山と溪谷社	1985.11	493.1/472/	低体温症
てんかんと私		日本てんかん協会編	ぶどう社	1985.11	493.7/190/	
病床からの発信	原宏道遺稿集	原宏道著	考古堂書店	1994.4	914.6/ハヒ/	
糖尿病とともに90歳	外科医中山恒明が語るすこやかライフ	中山恒明[述]	プラネット	1999.10	493.1/407/	糖尿病
夫婦愛	糖尿病が教えてくれたこと	藤木悠著	アミューズブックス	2000.7	778.2/778/	糖尿病
もう一つの闘い	血糖値596からの糖尿病克服記	アントニオ猪木著	三笠書房	2002.1	788/319/	糖尿病
心を病むってどういうこと？	精神病の体験者より	古川奈都子著	ぶどう社	2001.11	493.7/786/	統合失調症
精神病棟の二十年その後		松本昭夫著	新潮社	1997.3	493.7/490/	統合失調症
『近代』を抜ける	たゆたう人びとからの提言	仲野実著	批評社	1997.9	493.7/515/	統合失調症
統合失調症ぼくの手記		リチャード・マクリーン著	晶文社	2004.9	935.9/402/	統合失調症
精神病棟の二十年		松本昭夫著	新潮社	1981.4	493.7/153/	統合失調症
ゆりかごの死	乳幼児突然死症候群(SIDS)の光と影	阿部寿美代著	新潮社	1997.4	915.9/アス/	乳幼児突然死症候群
難病日記		三浦綾子著	主婦の友社	1995.10	915.6/510/	パーキンソン病
人工水晶体		吉行淳之介著	講談社	1985.7	914.6/㊦47/	
贈られた眼の記録		曾根綾子著	朝日新聞社	1982.3	B91/984/	
花に逢はん 改訂新版		伊波敏男著	人文書院	2007.9	915.9/イト/	ハンセン病
花に逢はん		伊波敏男著	日本放送出版協会	1997.6	915.9/イト/	ハンセン病
地面の底がぬけたんです	ある女性の知恵の七三年史	藤木とし著	思想の科学社	1974	914.6/フ17/	ハンセン病
不幸な楽園	雑誌にみる病める足跡	芳葉郁郎編	[芳葉郁郎]	1991.12	494.8/42/	ハンセン病
がんばれ朋之！18歳	植物状態からの生還<265日の記録>	宮城和男著	あけび書房	1996.11	915.9/ミカ/	びまん性軸索損傷

書名	副書名	著者	出版社	発行年	請求記号	
生きててよかった	移植を拒否して心臓病とたたかう27歳の勇気の記録	寺尾陽子著	リヨン社	1995.11	915.9/テヨ/	
まだですか赤ちゃん 生まれた命にありがとう		大島洋子著 野田聖子著	リヨン社 新潮社	1994.6 2011.2	495/86/ 915.9/ノセ/	
慢性疲労症候群日記		湯浅俊恭著	講談社出版サービ スセンター	2001.9	493.1/548/	慢性疲労症候 群
「良い子」があぶない 薬物依存	薬物中毒になった若者の生活と意見 回復のための12章	竹村登茂子著 近藤恒夫文	築地書館 大海社	1994.6 1997.1	371.4/482/ 498.1/580/	
さらば、哀しみのドラック 顔とトラウマ 顔面漂流記	医療・看護・教育における実践活動 アザをもつジャーナリスト	水谷修著 福井輝明編著 石井政之著	高文研 かもがわ出版 かもがわ出版	1998.11 2001.6 1999.3	371.4/700/ 493.7/752/ 915.9/イマ/	ユニークフェイ ユニークフェイ
わが腰痛奮闘記	インフォームド・コンセントを成功させた 165日	郡司道子著	のべる出版企画	2003.7	915.9/クミ/	腰部脊椎館狭 窄症
めだかの学校の仲間たち 見えなくても・愛	見えなくて聞こえないやっこの手のひら の旅 全盲の妻として、母として	山岸康子著 河辺豊子著	思想の科学社 グロビュー社	2012.3 1983.2	915.9/ヤヤ/ 915.9/739/	視覚障害 視覚障害
17人のわたし	ある多重人格女性の記録	リチャード・ベア著 浅尾敦則訳	エクスナレッジ	2008.8	935.9/457/	解離性障害
心なき医療 命耀ける毎日	お母さんどうして私は死ななければなら なかったの	久能恒子著 中井まり著	ぴいぶる社 青志社	1993.8 2008.1	95.9/クツ/ 915.9/ナマ/	
ありふれた老い 松下竜一その仕事9		松下竜一著 『松下竜一その仕事』刊行委員 会編集	河出書房新社	1999.7	918.6/557/9	
お母さんは宇宙人		橋幸夫著	サンブリッジ	1989.9	915.9/1015/	認知症
ごめんね！お姑さん、お母さん	嫁として娘としてボケとたたかう 豊原ミツ子の看老の記	豊原ミツ子著	講談社	1990.7	915.9/トミ/	認知症
見えない障害二分脊椎 しじみ貝の詩	人となる樹 聴覚障害者の体験から	神原史直著 岩淵紀雄著	明石書店 日本放送出版協会	2005.3 1978	915.9/カ7/ 915.9/501/	二分脊椎 聴覚障害
星になったおばあちゃん		遠藤和子著	あすなろ書房	1971	T959/7/	
シェーグレンと共に 原発死	vol.2患者編 一人息子を奪われた父親の手記	松本直治著	シェーグレンの会 潮出版社	2011.3 2011.8	493.1/589/2 T540/126/A	いろいろな疾病 いろいろな疾病
三人姉妹 ジロジロ見ないで	自分らしく生きること 普通の顔を喪った9人の物語	小菅みちる[ほか]著 高橋聖人撮影	読売新聞社 扶桑社	1997.2 2003	915.9/ヨミ/ 281.04/413	いろいろな疾病 その他の疾病
ふたたびの生 困ってるひと		柳沢桂子著 大野更紗著	草思社 ポプラ社	2000.3 2011.6	289.1/ヤケ/ 915.9/オサ/	その他の疾病 その他の疾病
神様からの宿題 生きる力の源に	がん闘病記の社会学	山本育海、山本智子著 門林道子著	ポプラ社 青海社	2012.12 2011.10	915.9/ヤイ/ 491.6/533/	その他の疾病 闘病記
闘病記専門書店の店主ががんになって 考えたこと		星野史雄著	産経新聞出版	2012.10	491.6/541/	闘病記